

北九州市議会議長

田仲つねお 市政レポート

(田仲常郎)

令和6年2月号

「大きな夢の挑戦者」
「小さな声の代弁者」

出会うたびに感謝
縁にありがとう



↑ホームページQR



PROFILE

昭和41年3月20日生まれ

緑ヶ丘第二幼稚園 則松小学校

昭和56年3月 則松中学校卒業

昭和59年3月 東海大学附属第五高等学校卒業

平成26年3月 北九州市立大学地域創生学群
地域創生学類卒業

平成21年1月 市議会議員初当選
以後4期連続当選

総務財政委員会 委員長歴任

議会運営委員会 委員長歴任

自由民主党無所属の会 幹事長歴任

第24代北九州市議会 議長

(令和5年10月3日～現在に至る)

【社会活動&現在の役職】

NPO則松金山川コスモス会 理事長

NPO法人 病院前救護と健康管理研究会 理事

北九州市花咲く街かどづくり推進協議会 副会長

八幡西区花咲く街かどづくり推進協議会 会長

北九州なぎなた連盟会長 八幡西地区柔道連盟 理事

日本おもと協会東筑支部 相談役

保護司

北九州ヤング硬式野球倶楽部 顧問

自由ヶ丘ベースボールクラブ 顧問

<https://ameblo.jp/tanaka-tsuneo/>

<https://www.facebook.com/tsuneo.tanaka.161>

ご挨拶
1月1日に石川県能登地方で発生した「能登半島地震」では、甚大な被害が報告され、多くの方が被災されました。また、1月3日には長年市民の皆様が親しまれている鳥町食道街が火災に見舞われたことは、大変胸を痛める出来事でした。被災された皆様にも心よりお見舞い申し上げるとともに、一刻も早い復旧復興を願っています。
さて、昨年10月3日に第24代北九州市議会議長に就任いたしました。市内市長による新しい市政が始まりましたが、本市の財政危機や少子高齢化に伴う人口減少、子育て支援のあり方、物価高騰に伴う生活支援、まちの活性化など市民生活を取り巻く課題は山積しております。

こういった課題への対応として、具体的な取組項目等を定めた「北九州市政変革推進プラン」を策定することになっています。
さらに、北九州市が目指す将来の都市像に向けて取組む「北九州市基本構想・基本計画」も策定予定です。
諸問題への対応や市長からの提案については、二元代表制の一翼を代表するものとして、緊張感を持ちながら活発な議論を交わし、市政を進めてまいります。
今後は議長として「議会基本条例」に定める、市民の福祉の増進と市政の発展のために、議会運営に取り組む所存です。皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

田仲つねお

令和5年に北九州市が市政発足から60年目を迎えました

積極的な政策提案を通して、政策形成の舞台を固め「北九州市を前に進めていく」という共通の目標に向かって真摯に議論を重ね、対応して参ります。

みらいつなぐ"北九州" 60th

街に活気が戻ってまいりました

令和2年から猛威を振るった「新型コロナウイルス感染症」が、今年度に5類感染症となりました。

人々の交流、社会経済活動が活発化し、3年ぶりに開催された「北九州マラソン」や4年ぶりに通常規模で開催された「わっしょい百万 夏まつり」など、コロナ禍で中止されていた多くのイベントや祭りが開催されました。



世界トップ選手が参加する自転車ロードレースが北九州市で開催。小倉城周辺の周回コースでは選手たちの熱い走りを見ることができました。



令和5年10月6日 小倉城クリテリウム

10月13日～15日 姉妹都市である仁川広域市の市議会から招待があり、仁川市民の日記念式典に参列し仁川市議会を表敬訪問しました。



令和5年10月13日 仁川市議会訪問

藤井聡太竜王の「竜王戦」

史上初の八大タイトル制覇を達成した藤井聡太竜王と伊藤匠七段が、旧安川邸で対局。



令和5年10月24日 第36期竜王戦七番勝負
第3局北九州対局 歓迎前夜祭



平成中村座小倉城公演

4年ぶりの開催となる平成中村座小倉城公演は、圧倒的な迫力で歌舞伎の魅力を伝えていただきました。



令和5年10月29日 平成中村座小倉城公演記念お練り



「全国市議会議長会 研究フォーラム」を開催

市政60周年を記念し、10月25日・26日の2日間、「全国市議会議長会研究フォーラム」が開催されました。当日は全国から約2,400人の市議会関係者にお越しいただき、地方議会の課題に対する活発な議論を行うことができました。多くの関係者のご協力を得て、「小倉イルミネーション」や「小倉城竹あかり」へのご案内、「皿倉山・高塔山からの夜景」など、北九州市の観光都市としての魅力も十分にPRできました。後日、ご参加いただいた方より「北九州市でのおもてなしが素晴らしかった」というお話を多数いただき、開催市として大変誇らしく感じております。



一丸となって進めてきた取組みが、成果を結んだ令和5年

令和5年3月に響灘沖の洋上風力発電所「北九州響灘洋上ウインドファーム」の建設工事が着工。10月には建設用の巨大クレーン船の公開など、令和7年度の運転開始に向けた取り組みが、着実に進められております。風力発電関連産業の総合拠点形成が進むことにより、北九州市が目指す脱炭素社会の実現につながるものと確信しております。

令和3年に新駅舎が開業し、令和4年に鉄道的全線高架化が完了した折尾地区では、令和5年4月に折尾駅北側の駅前広場が完成し、駅周辺が新しく生まれ変わりました。9月には折尾駅高架下に商業施設「えきマチ1丁目」が開業し、駅舎のライトアップも始まるなど、新たなにぎわいづくり、街づくりが進んでいることを実感しております。

令和5年12月には、北九州市の念願でありました「北九州空港の滑走路3000メートル化」に向けた工事が着工。この滑走路延長により、欧州や北米からの大型貨物機の運航も可能となり、24時間運用可能な海上空港という特徴を生かした、北九州空港の物流機能が強化されるものと期待しております。

本市は「北九州空港機能強化・利用促進特別委員会」を設置し、国や県、関係者への要望活動など、超党派で積極的に活動を行ってきたことが、やっと実を結んだと喜んでいるところであります。今後も皆で一丸となって、北九州空港の機能強化・利用促進を進めてまいりたいと考えております。